

ハイイータン®錠による 治療を受けられる患者さんへ

ここでご紹介している副作用は必ず起こるものではありません、
気づかずに放置していると重くなり、健康に影響を及ぼすことがあります。
そのため、早めに「気づいて」対処することが大切です。

自分で
わかる
副作用

かん しつ せい はい しつ かん

間質性肺疾患

発現頻度 約100人に1人

間質と呼ばれる肺胞の壁に炎症が起こり、肺の機能が低下することがあります。

以下のような症状が出現した場合は、すぐに医師・薬剤師に連絡してください。

- ☐ 痰のない咳(からせき)がでる
- ☐ 階段を登るときなどに息苦しくなる、息切れがする
- ☐ 発熱

注意事項と対策

- ・ せき、息切れ、発熱など、かぜによく似た症状が起こることがあります。かぜをひいたと自分で判断しないで、すぐに担当の医師に連絡しましょう。



自分で
わかる
副作用

たい えき ちょ りゅう

体液貯留

発現頻度 約5人に4人

体液貯留は体に水がたまる状態で、むくみがみられることがあります。

以下のような症状が出現した場合は、すぐに医師・薬剤師に連絡してください。

- ☐ 全身症状：手足のむくみ、靴を履きにくい、体重の増加、お腹の張りなど
- ☐ 呼吸器症状：息切れ、息苦しさなど

注意事項と対策

- ・ 医師より、尿を出しやすくする薬や医療用ストッキングの使用、足を高くするなどの対処法が指示されることがあります。



検査で
わかる
副作用

かん き のう しょう がい

肝機能障害

発現頻度 約2人に1人

肝臓の機能が障害される「薬物性肝障害」が引き起こされ、肝臓が正常に働かなくなることがあります。

以下のような症状が出現した場合は、すぐに医師・薬剤師に連絡してください。

- ☐ 倦怠感 ☐ 食欲不振 ☐ 発熱 ☐ 皮膚や目の色が黄色くなる
☐ 発疹 ☐ 吐き気・おう吐 ☐ かゆみ

注意事項と対策

- ・ 普段から、皮膚や目の色が黄色くなったり、尿が黄褐色になったりしていないか、確認しましょう。
- ・ 症状が現れず、検査をしないとわからないことがありますので、担当の医師の指示に従い、定期的に肝機能検査を受けましょう。



検査で
わかる
副作用

じん き のう しょう がい

腎機能障害

発現頻度 約5人に1人

腎臓の機能が低下することがあります。

以下のような症状が出現した場合は、すぐに医師・薬剤師に連絡してください。

- ☐ 尿量が減る ☐ むくみ ☐ 倦怠感

注意事項と対策

- ・ 普段から、排尿の回数や量に注意しておきましょう。
- ・ 症状が現れず、検査をしないとわからないことがありますので、担当の医師の指示に従い、腎機能検査を受けましょう。



医療機関名